



都立府中療育センター新聞 第483号 発行日 平成30年2月28日

冬の企画 「日本の冬景色を満喫して楽しもう」

指導科 丸山 秀子

平成30年2月20日(火)、PT室で指導科の恒例行事「冬の企画」を開催しました。今回の内容は「冬ならではの遊びを体験しよう!」と称して、カーリングと陣取り合戦を合わせた「ゲームコーナー」と雪の世界、温泉を楽しむ「癒しのコーナー」を用意しました。冬景色に包まれた会場で、多くの方が参加され、景色やゲームを楽しまれていました。

会場の入口を入るとすぐにゲームコーナーがあり、男女対抗戦でカーリングをしました。ボールを転がし、得点によってシール取得数が変わり、高得点を出すほど陣取り合戦に使用するシールが多く貰えて有利となるというものでした。利用者の皆さんは高得点を取ろうと頑張り、中には幸運にも最高得点を取った方がおり、会場は更に盛り上がりました。

また癒しのコーナーへ入ると、世界は変わって、雪景色が広がり、雪玉や雪の結晶などが見られました。そこを更に進むと露天風呂があり、お湯の音が聞こえ、温泉の光景が見られる冬景色と温泉の癒しの空間でした。利用者は、暖かなお湯袋を触ったり、硫黄の香りや甘酒の香りを体験したり、様々な表情を見せて楽しんでいました。

今回の行事では、ボランティアの方にもご協力を頂き、利用者、ご家族、職員を含め約180名の参加があり、大盛況のうちに無事終わることが出来ました。



1階病棟合同お楽しみ会！のはず



1-B病棟 保育士

今年度初めて1階病棟合同での行事を企画しました。内容は国盗り(47都道府県)ゲームでした。1月13日から、毎日各病棟の代表者3名で簡単なゲーム(ジャンケンや黒ひげゲームなど)をして、勝った方が好きな都道府県を手に入れていきました。決着の日は、2月14日バレンタインデーでした。しかし、今年は巷のインフルエンザの流行のため、合同での開催はできなくなってしまいました。非常に残念。(ちなみに2月13日までの対戦成績は、1-Aが13国、1-Bが18国で1-Bが優勢でした。)

ということで、それぞれの病棟でお楽しみ会をしました。1-B病棟では大きなジェンガをし、大盛り上がり！！今回は一緒に行事はできなかったけど、来月のホワイトデーも合同行事を予定しています。今度は一緒にできますように・・・

※国盗りゲームの勝敗は決着が着くまで毎日やってまーす。



3-1病棟 誕生日会

3-1病棟 保育士 上野 聡子

2月15日(木)に誕生日会を行いました。日頃、活動で行っているハンドベルを使い「Happyバースデイ」を演奏し、誕生者のお祝いをしました。その後、招待した音楽グループ「ソードミュージック」の皆さんの歌を楽しみました。「ソードミュージック」の皆さんは、「ハナミズキ」「さんぽ」エヴァンゲリオンの「残酷な天使のテーゼ」アナと雪の女王の「とびら開けて」を歌ってくださいました。利用者にとって親しみのある曲が多かったため、多くの利用者に笑顔が見られました。また歌に合わせて、鈴やタンバリンでリズムをとる利用者もあり、病棟全体で誕生日会を楽しむことができました。他病棟からの参加も多く、にぎやかな誕生日会になりました。



5-A病棟 節分のお楽しみ

5-A病棟 福祉職 大塚 好雄

2月7日(水)、5-A病棟では「節分のお楽しみ会」を開き、皆でゲームを楽しみました。すごろくゲームは、振ったサイコロの目の数だけ駒を進め、上がりを目指していくおなじみの遊びですが、天井から吊り下げたすごろくシート上にお名前を貼った駒を使っていたので、一人ひとりが主人公となり、すごろくの旅を味わえました。ゴールの手前で振り出しに戻ってしまう方もいて、大変盛り上がりました。また、すごろく以外にも「ペタンク」という障害のある方でも楽しむことができるスポーツをゲームに作り変えたものもやってみました。仕組みは、滑り台の上から握ったボールを転がし、的のある位置で止めるといったゲームです。手作りのいびつなボールだったので、狙い通りには止まらず、はずれたり、逆にボーナス点をもらえたりとこちらも大盛況でした。ゲームに興じているうちにあっという間に過ぎてしまったひとときでした。



5-B病棟 お楽しみ会

5-B病棟 保育士

2月16日(金)、お楽しみ会を行いました。はじめに「おむすびころりん」を題材にした劇を行い、実習生の3人が、ねずみに扮してかわいらしく踊ってくれました。その後、「一匹の野ネズミが～」と手遊びをして皆で楽しみました。劇の中では、小さな箱の中を開けると金貨がたくさん出てくるなど、小道具にも凝った演出を行いました。劇の後に大きな箱をあけてみると、そこには2月の誕生者の方へのお祝いのメッセージが書かれていました。サプライズでウクレレ演奏を行い、皆で誕生者のお祝いをしました。その後は、事前の日中活動からお楽しみ会のために練習を重ねていた歌「ともだちになるために」と「にじ」の2曲を手話付きで歌いました。利用者やご家族、職員は手を一緒に動かし楽しみました。虹などが書かれた札を用意し、みんなで手も動かし、病棟内に虹がかかっていました。綺麗な虹のアーチに、会場は和やかな雰囲気になり、利用者の笑顔が多くみられました。最後は、「ダンシングヒーロー」の盆踊りバージョンを踊り、利用者はキラキラした飾り付きの鈴やタンバリンを鳴らして非常に盛り上がりました。



第33回日本環境感染学会総会・学術集会

検査科 猪狩 真子

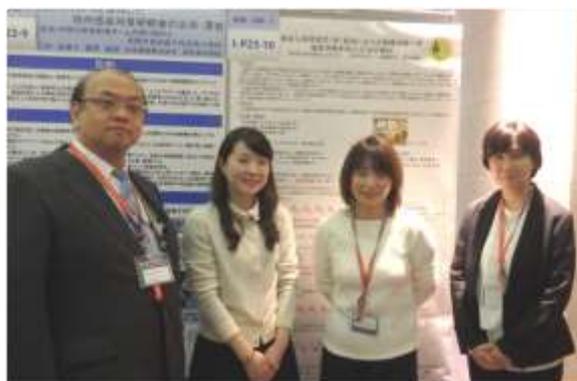
平成30年2月23日・24日、東京で行われた第33回日本環境感染学会総会・学術集会に参加しました。今年のテーマは、「感染制御におけるBest Practiceの追及」です。感染に関わる専門家の研究や現場の取り組みを聴講してきました。センターからは、ICTメンバー、リンクナース9名が参加しました。

今年も昨年に引き続き、話題の中心は薬剤耐性(AMR)アクションプランについてでした。これは抗菌薬が効きにくくなる耐性菌が増えているため、抗菌薬は適切に使いましょうという世界的な取り組みです。センターでは、平成29年4月より小児総合医療センター感染症科と連携し、抗菌薬の使用についてコンサルトを受けています。今回、この連携体制の構築について、寺山薬剤科科長がシンポジウムで報告しました。

また、ポスター部門では、私が、「機械浴槽への塩素消毒剤投入方法」について発表しました。

内容は、昨年作成した入浴に関するケアバンドルの一つとして検討してきたものです。入浴による感染リスクを低減するために、浴槽水の消毒方法についてまとめました。

今回、この学会に参加して、センターのような長期療養施設では、感染対策についてみな同じような悩みを抱えていることがわかりました。府中療育センターのベストプラクティスを考えるためのヒントをたくさんもらってききましたので、今後の感染対策に役立てていきたいと思えます。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042 (323) 5115

Fax 042 (322) 6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>